

経営比較分析表（令和6年度決算）

福島県いわき市 いわき市医療センター

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	500床以上	学術・研究機関出身
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	28	対象	ド透I未訓ガ	救護が感災地輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
303,171	64,219	非該当	非該当	7 : 1

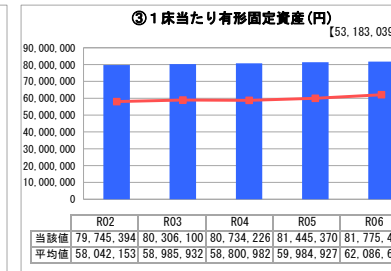
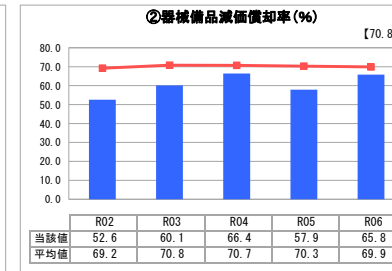
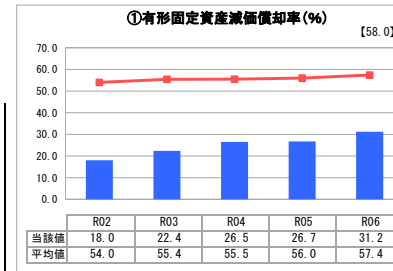
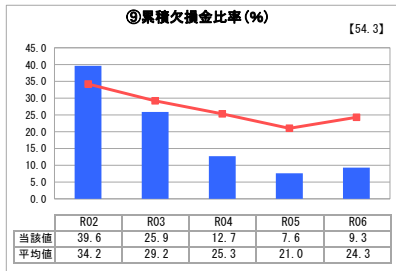
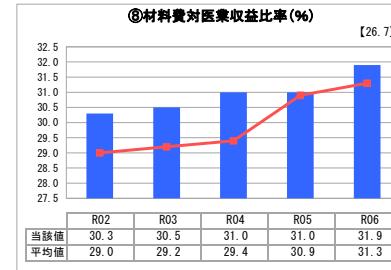
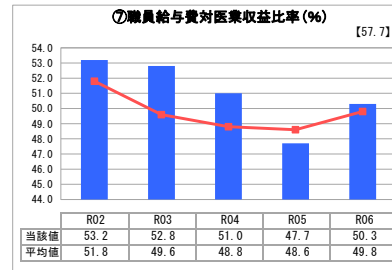
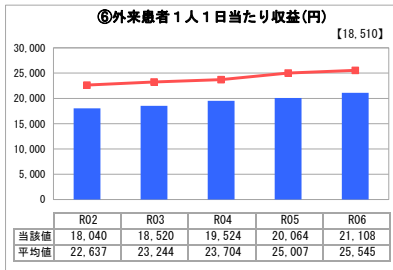
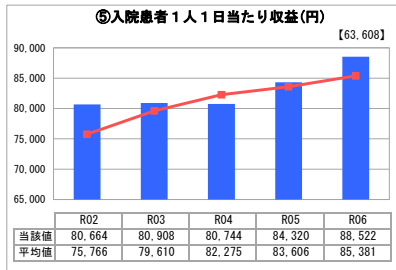
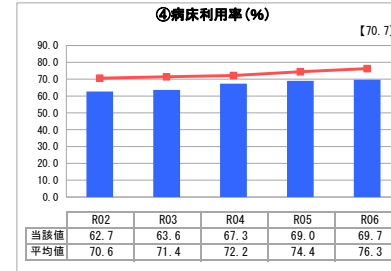
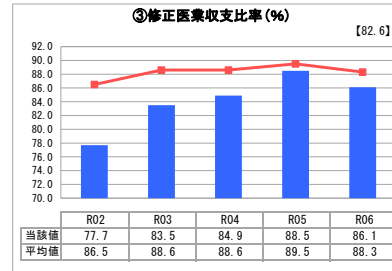
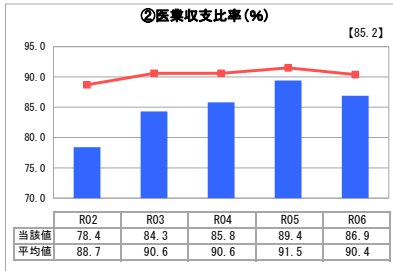
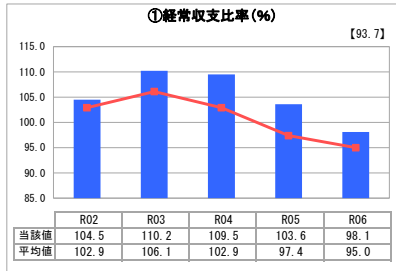
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
679	-	15
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	6	700
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
575	-	575

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
-	類似病院平均値（平均値）
[]	令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

経営強化に係る主な取組（直近の実施時期）

継続強化・運維強化 (従来の可観・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

救命救急センターを核とした救急医療の提供をはじめ、地域がん診療連携拠点病院、地域周産期母子医療センター等の機能を發揮し、地域の中核病院として、福島県いわき医療圏はもとより、本県浜通り地区の高度急性期医療・政策医療を担うほか、臨床研修指定病院として、地域医療の将来を担う医療従事者の育成に取り組むなど、多様な役割を担っています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

医業収益は、前年と比べ大幅に増加したものの、給与費等の医業費用がそれ以上に増加したことから、①②③は前年を下回りました。
⑤は、高額な抗がん剤を投与する患者の増加やベースアップ評価料の新設等により前年及び平均値を大きく上回りました。
⑦⑧は、県人事委員会勧告に伴う給与改定や高額な薬品・診療材料の使用量の増加等により、前年より悪化し、平均値も下回りました。
④は、紹介患者数の増加に伴い入院患者数が増加したことで、前年より改善したものの、平均値との差は前年より広がりました。

2. 老朽化の状況について

平成30年12月の新病院の開院と、これに伴う医療機器購入により、①は平均を大きく下回っています。②は令和5年度に購入した高額な器械備品等の償却が進んだため、前年より増加していますが、平均は下回りました。
今後、新病院開院時に整備した医療機器の更新時期が到来することから、計画的な整備に努めます。

全体総括

令和6年度は、紹介患者数が増加したほか、高額薬品や診療材料の使用量増加などにより、医業収益は前年を大きく上回りました。
また、人材確保では、常勤医師が不在だった診療科に常勤医師を招聘でき、診療体制の強化を推進できました。
しかしながら、給与費や材料費など医業費用の増加の影響は大きく、医業収益の増加を上回り、経営状況は悪化しました。
今後も、賃上げ、物価上昇が続く、給与費、材料費、委託費等医業費用の増加が見込まれることから、経営安定化のために、病床管理の効率化や支出の適正化などの取組みを行う必要があると認識しています。
当センターは、医療圏で唯一、高度急性期医療を提供する地域のの中核病院として、今後も持続可能な医療提供体制の確保を目指していきます。

※1 類似病院平均値（平均値）については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。